子ども達の明るい笑顔と共育

毎朝、新型コロナウイルス感染症の広がりが報道されています。感染拡大は私たちの生活に、多くの脅威と困難をもたらせています。報道を見るたびに、日々、気が重くなります。

そんな中、暗くなりがちな私の気持ちを奮い立たせてくれるのが、西中生の明るさ、元気の良さ、活発さです。好天の下、体育祭練習も３日続けて行われました。子ども達も疲れていることと思いますが、授業中はきちんと話を聞く姿が見られ、朝や休み時間は、元気なあいさつがよく聞かれます。体育会練習においてもリーダーを中心に、頑張っている姿が見られます。体の疲れよりも、気持ちの充実の方が勝っている子が多いようで、私も元気をもらっています。

そのような子ども達の様子を見ていると、「やはり学校行事は子ども達の成長に効果がある」とつくづく思います。多少の困難があると、人はそれを乗り越えよう！達成しよう！と思い、『今までの自分＋アルファ』のチャレンジをします。それが、今の学校生活に現れています。ですので、体育会練習だけでなく、授業中も良い雰囲気が作れています。

そう考えると、改めて思うことは、『共育』の大切さです。子どもは学校だけでは育ちません。学校では主に社会性を養いますが、そのための基盤となる『人間性』や『心身の健康』等はご家庭で養われているものです。だからこそ、家庭と学校が一体になる、さらには地域も一体になることで、子ども達はすくすくと健全に育ちます。

今年の体育会が実施できるかどうかは、まだわかりませんが、子ども達の様子を見ていると、「ぜひご家庭の皆様に体育会を見ていただきたい！」と思います。お子様の頑張りを目の当たりにすることで、保護者の皆様もまたご家庭での子育ての活力になることでしょう。私もかつて我が子の様子を見に、できる限り授業参観や運動会、体育会に足を運んでいました。家庭で見せる姿と違う我が子の姿を見ることは、親にとって大変意味のあることです。しかし、今年の体育会では、それができません。本当に心苦しく思います。せめて体育会が実施できるよう、感染防止に努めながら当日を迎えることができれば良いと願っています。

保護者の皆様には今回の体育会無観客開催にご協力いただき、誠に感謝しています。学校での様子を、ぜひお子様からお聞きください。きっと目を輝かせて話してくれていることと思います。種目練習のこと、ブロック演技のこと、リーダー達の頑張り…。

感染症の広がりは衰えを知らず、今後も予断を許さない状況が続きます。体育会実施もままならない状態ですが、ご家庭との『共育』のもとで、体育会のみならず、日頃の教育活動のさらなる充実を目指します。今後もご理解ご協力をお願いいたします。

そして体育会当日、帰宅したお子様の表情や声、姿から、これまでの頑張りや体育会の成功を称賛していただければと願います。